

### 遮音壁工事(試掘)作業手順 1/3

|             | 内 容   | 留 意 事 項   |
|-------------|---|---|
| 準備工         | 埋設管の図面による条数確認。有資格者の確認(資格証携帯)<br>埋設管の重要性を作業員全員に周知徹底するよう、<br>通信ケーブルの近接工事施工計画書に基づいての説明。<br>作業内容・人員の確認。保護具・使用機械・資材・工具の確認、点検<br>施工箇所の埋設管の探査機械による、調査。 | KY活動と安全作業指示書による打ち合わせ。<br>全員が把握出来るよう、わかるまで説明する。<br>チェックリスト(自社)による作業前の点検。                       |
| 調査<br>マーキング | 鋼管ぐい設置位置を割付図で確認しマーキングする。<br>ハンドホールを専用キーで開ける<br>埋設標等を見通し埋設物設置を予想してマーキングする。   | 丁張り等で確実に割り付ける。<br>ハンドホール蓋の人力開閉作業に注意。  |
| 掘 削         | 手堀にて埋設管確認掘削作業をします。<br>埋設管路の確認を十分出来る大きさを掘る。<br>土をスコップ・バールで掘り起こし、その場にストックしておく。<br>コンクリート、石がでてハムマドリルや、ブレーカーはすぐに使用せずに<br>責任者の許可を得てから作業する。           | 埋設管を損傷させないよう、十分慎重に作業する。<br>確実に露出させ、確認出来るように清掃をする。<br>土嚢袋にいれば、埋設物にはかからないようにする。<br>原則として使用はしない。 |
| 位置確認        | 埋設標を設置する箇所においては、埋設管にテープが巻けるように掘り出し<br>テープを巻きコンクリートシール時に設置できるようにしておく。  | 埋設標設置位置のテープは、垂直に立ち上げるよう、<br>注意して施工します。  |
| 埋め戻し        | 埋設管が確認出来るように掘削土を土嚢袋に入れて埋め戻す。<br>埋設標のテープはわかりやすい位置にだす。  | 埋設物がすぐわかるように土嚢を置く。<br>土嚢袋がわかるように土嚢袋の上には土をかけない。<br>仮置きは沈まないよう土のうはしっかり詰め込み、<br>段差ができないように設置する。  |
| 清掃・片付け      | 保護具・使用機械・資材・工具の片付け確認。<br>清掃作業。  | 現場内に保護具・使用機械・資材・工具の忘れ物など<br>一通り確認する。<br>道路上に細かい小石や土が無いか再度確認して<br>悪いところは清掃を行う。                 |

### 遮音壁工事(基礎工)作業手順

|               | 内 容  | 留 意 事 項  |
|---------------|--|--|
| 準備工           | 作業打合せ(KY活動)<br>作業人員確認<br>使用車両の点検<br>交通規制等の確認   | KY活動と安全作業指示書による打ち合わせ。<br>玉がけワイヤーロープの点検<br>運行前点検の実施<br>規制の種別、場所、時間の確認。<br>資格証の確認。       |
| 掘削            | 鋼管ぐい設置位置を割付図で確認しマーキングする。<br>埋設物の位置を確認する。<br>掘削位置をマーキングして、深さを確認する。<br>バックホーにて掘削する。<br>埋設物等の接近や横断箇所は手堀に作業する。 | 丁張り等で確実に割り付ける。<br>土嚢をと埋設物の位置を確認してから作業する。<br>光通信ケーブル等埋設物事故防止管理者のもとで<br>作業する。            |
| オーガ掘削(省く場合あり) | 鋼管ぐい搬入<br>埋設物の位置を確認する。<br>鋼管ぐい設置位置のマーキング位置をオーガーにて掘削する。   | 鋼管ぐいは転がり転落防止を行った上で搬入する。<br>仮置きは木くいを使用して、のり面の外に落ちないように<br>する。<br>オーガー掘削は埋設物の位置を確認後作業する。 |
| 鋼管打ち込み        | オーガーをモンケンに組み替える。<br>掘削後約90cm以上を打ち込みする。<br>丁張より下かきを確認しながら打ち込む。<br>打ち込み後所定高さまで埋め戻す。                          | オーガー取り外しは転落防止を施す。<br>打ち込み前に埋設物を確認する。<br>吊り込み時は、点検済みのワイヤーロープにて行う。<br>鋼管の上を飛び越えたりしない。    |
| 清掃・片付け        | 保護具・使用機械・資材・工具の片付け確認。<br>清掃作業。   | 現場内に保護具・使用機械・資材・工具の忘れ物など<br>一通り確認する。<br>道路上に細かい小石や土が無いか再度確認して<br>悪いところは清掃を行う。          |

### 遮音壁工事(本体部)作業手順

|             | 内 容   | 留 意 事 項  |
|-------------|---|--|
| 準備工         | 作業打合せ(KY活動)<br>作業人員確認<br>使用車両の点検<br>交通規制等の確認  | KY活動と安全作業指示書による打ち合わせ。<br>玉がけワイヤーロープの点検<br>運行前点検の実施<br>規制の種別、場所、時間の確認。<br>保護具の点検と確認。<br>資格証の確認。 |
| 支柱建て込み      | 丁張りより高さ、位置を割り付け、鋼管の上部にマーキングする。<br>鋼管の上部に等辺山形鋼を溶接する。<br>ユニックにて支柱を吊り込みスパイラル鉄筋を入れた後<br>溶接済みの等辺山形鋼に溶接してとめる。<br>振れ止めを確認後コンクリートを打設する。 | 丁張り等で確実に割り付ける。<br>保護具の着用。<br>ワイヤーロープの確認<br>車両の、車線側はみ出しをしない。<br>トラックのバックの誘導の実施                  |
| 吸音板・土留板建て込み | 吸音板・土留板の搬入<br>ユニック車を使用して専用吊り金具で玉がけて建て込む<br>支柱の切り込みから建て込む。   | 重量の確認。土留板450kg/枚 吸音板220kg/枚<br>有資格者による作業<br>吊り荷の下に入らない。<br>合図の統一                               |
| 埋戻し         | バックホーと人力を併用して埋め戻す。<br>埋設物の位置を確認してから埋め戻す。<br>埋設標は垂直にたちあげる。   | 土留板背面オベからの死角は手元と合図を<br>打ちあわせてから作業する。<br>光通信ケーブル事故防止管理者立会の上での作業                                 |
| 板設置         | 板をユニックで吊り込み、高所作業車を使用して、留め金具を固定する。<br>落下防止ワイヤーを支柱と透光板に通してボルトで固定する。   | 安全帯を使用して頼綱、フック、にかける。<br>作業車間の距離をとる。<br>移動時フームを格納する。<br>高所作業車のアウトリガーの張り出しは確実にする。                |
| 清掃・片付け      | 保護具・使用機械・資材・工具の片付け確認。<br>清掃作業。  | 現場内に保護具・使用機械・資材・工具の忘れ物など<br>一通り確認する。<br>道路上に細かい小石や土が無いか再度確認して<br>悪いところは清掃を行う。                  |
|             | 終礼の実施   | ヒヤリハットの実施  |

